

2025年第1回札幌競馬特別レース名解説

<第1日>

○ライラック賞

ライラック（Lilac）は、モクセイ科の落葉低木。成木の高さは約6mになり、春になると枝先に白色や紫色の多数の小花を円錐状につける。ヨーロッパ原産で日本へは明治中期に輸入され、その日本最古のライラックは北海道大学植物園に現存している。また、札幌市の木に選ばれており、毎年5月頃には、大通公園と川下公園でさっぽろライラックまつりが開催される。花言葉は「初恋」「青春の喜び」。

○TVh賞

TVhは、札幌市に本社を置くテレビ北海道の略称。1989年開局で、TXN(テレビ東京)系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○桑園特別

桑園（そうえん）は、札幌市のほぼ中心部に位置する地区。北部には札幌競馬場、南部には知事公館や道立近代美術館などがある。

<第2日>

○ポプラステークス

ポプラ（Poplar）は、ヤナギ科の落葉高木。幹は直立し、成木の高さは約20mに達する。日本では主に街路樹や庭園樹に用いられている。花言葉は「度胸」「勇気」。

○札幌日経賞（L）

日経は、東京と大阪に本社を置く日本経済新聞社が発行する日本経済新聞の略称。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○羊ヶ丘特別

羊ヶ丘（ひつじがおか）は、札幌市豊平区にある地名。戦前、付近に種羊場が開設されたことから羊ヶ丘と呼ばれるようになった。石狩平野を見渡すことのできる展望台には、「Boys, be ambitious!（少年よ大志を抱け）」の言葉を残したウィリアム・スミス・クラーク博士の全身像が置かれている。

＜第3日＞

○釧路湿原特別

釧路湿原（くしろしつげん）は、北海道東部、釧路市の北側に広がる約29,000haの面積を誇る日本最大級の湿原。1980年に日本で初めてラムサール条約登録湿地の指定を受けた。一帯が釧路湿原国立公園に指定されており、タンチョウ（丹頂）の生息地としても有名。

○STV賞

STVは、札幌市に本社を置く札幌テレビ放送の略称。テレビは1959年開局で、NNN（日本テレビ）系列。ラジオは1962年開局で、NRN（文化放送・ニッポン放送）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○大倉山特別

大倉山（おおくらやま）は、札幌市北西部の山。「大倉山ジャンプ競技場」は、1972年に開催された冬季オリンピック札幌大会でスキージャンプ競技の舞台となり、現在も国際大会が数多く開催されている。

＜第4日＞

○苫小牧特別

苫小牧（とまこまい）は、北海道中南部の市。石狩、勇払の低地帯が太平洋に臨む地にある。明治時代には製紙工場の操業開始を契機に工業都市として発展した。現在では港を中心として臨海工業地域を形成している。

なお、同地にはJRAの勝馬投票券の発売・払戻を実施する地方競馬施設であるJ-PLACE 苫小牧がある。

○北海道新聞杯クイーンステークス（GⅢ）

本競走は、1953年に創設された重賞競走。当初は東京競馬場の芝2000mで3歳牝馬限定戦として実施されていたが、2000年より開催場が札幌競馬場に移され、3歳以上牝馬限定戦に改められた。

クイーン（Queen）は、「女王」「王妃」を意味する英語。

北海道新聞は、北海道新聞社が発行する日刊紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○積丹特別

積丹（しゃこたん）は、北海道西部、日本海に突出する半島。また、同半島先端部を占める町。名はアイヌ語の「シャクコタン（夏の村）」に由来する。沿岸一帯はニセコ積丹小樽海岸国定公園に属する景勝地。古くから漁業が盛んで、北海道を代表する民謡「ソーラン節」の発祥地と言われている。

＜第5日＞

○藻岩山特別

藻岩山（もいわやま）は、札幌市南区にある標高531mの山。山頂展望台からは、2015年に日本新三大夜景に認定された札幌市を一望でき、360度の大パノラマが広がっている。また、札幌競馬場の屋上テラス席「もいわテラス」から藻岩山を望むことができる。

○エルムステークス（GⅢ）

本競走は、1996年に『シーサイドステークス』の名称で創設された重賞競走。第1回は函館競馬場で実施されたが、1997年に札幌と函館の開催日割が入れ替わったことに伴い、札幌競馬場での開催となり、『エルムステークス』に改称された。

エルム（Elm）は、ニレ科ニレ属の植物の総称。日本ではその中でも特にハルニレを英名（Japanese Elm）からエルムと呼ぶ。ハルニレは沖縄を除く日本全土に分布するが、特に北日本に多く、街路樹や公園樹に用いられている。花言葉は「信頼」「高貴」。

○厚岸特別

厚岸（あつけし）は、北海道の南東部に位置する町。1993年にラムサール条約に登録された厚岸湖と別寒辺牛湿原などの豊かな自然環境が様々な水産資源を育んでいる。特に牡蠣の養殖が盛んで、日本で唯一、年間を通して出荷を行っている。

＜第6日＞

○摩周湖特別

摩周湖（ましゅうこ）は、北海道東部、弟子屈（てしかが）町にあるカルデラ湖。周囲約20km、最大水深約212m。湖には流入する川も流出する川もない。日本で最も透明度が高いと言われ、北海道遺産に選定されている。霧の発生が多いことでも知られる。

○UHB賞

UHBは、札幌市に本社を置く北海道文化放送の略称。1972年開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○Fビレッジ特別

Fビレッジは、2023年に誕生した北海道北広島市中央部の地名。札幌市の衛星都市として年々発展しているほか、現在はプロ野球の球団である北海道日本ハムファイターズの本拠地「エスコンフィールドHOKKAIDO」があることでも有名。

＜第7日＞

○コスモス賞

コスモス（Cosmos）は、キク科の春蒔き一年草。メキシコを主とした熱帯アメリカ原産で、日本には明治時代に伝わったとされる。和名は秋桜（アキザクラ）。花色は白・桃・紅色などで、夏前に咲く早咲き種などの園芸品種もある。花言葉は「乙女の真心」「美麗」。

○知床特別

知床（しれとこ）は、北海道北東部、オホーツク海に突出する半島およびその一帯。名は、アイヌ語の「シリエトク（地の果て）」に由来する。2005年に半島とその沿岸海域がユネスコの世界自然遺産に登録されている。

○報知杯大雪ハンデキャップ

大雪山（だいせつざん）は、北海道中央部の火山群。御鉢平（おはちだいら）カルデラを囲み、最高峰の旭岳・北鎮岳・白雲岳などから成る。日本一早い紅葉の名所として知られ、9月から見頃を迎える。

報知新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○石狩特別

石狩（いしかり）は、石狩川河口にある北海道中西部の市。また、北海道にあった旧国名。サケなどの漁業が盛んで、サケの身やアラを用いた郷土料理である石狩鍋が有名。

なお、同地にはJRAの勝馬投票券の発売・払戻を実施する地方競馬施設であるJ-PLACE石狩がある。

＜第8日＞

○小樽特別

小樽（おたる）は、北海道西部石狩湾に臨む市。名は、アイヌ語の「オタオルナイ（砂浜の中の川）」に由来する。現在は、大正時代に完成した小樽運河やその両岸に並ぶ煉瓦の倉庫がレトロな雰囲気を出しており、多くの観光客が訪れる。

なお、同地にはJRAの勝馬投票券の発売・払戻を実施する地方競馬施設であるJ-PLACE小樽がある。

○大通公園特別

大通公園（おおどおりこうえん）は、札幌市の中心部に位置する公園。「さっぽろ雪まつり」や「さっぽろ夏まつり」の会場として市民や観光客に親しまれている。

○サマー２０００シリーズ札幌記念（ＧⅡ）

全５戦で実施されるサマー２０００シリーズの第４戦。

本競走は、１９６５年に創設された重賞競走。１９６９年以降、３歳以上のダート２０００ｍ、ハンデキャップ競走として実施されていたが、芝コースの新設により、１９９０年から芝２０００ｍに変更された。１９９７年にはＧⅡへ格上げされ、札幌と函館の開催日割が入れ替わったことに伴い、実施時期が６月から８月に移され、負担重量が別定重量となった。２００６年には負担重量が定量に改められ、実施されている。

○阿寒湖特別

阿寒湖（あかんこ）は、北海道東部、阿寒カルデラ内にある湖。雄阿寒岳、雌阿寒岳の山麓に広がり、周囲約２６ｋｍで美しいひし形をなす。全域が阿寒摩周国立公園に囲まれ、２００５年にラムサール条約登録湿地となった。また、同湖に生育するマリモは、１９５２年に国の特別天然記念物に指定された。